

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.188＞ 2024年9月20日号

夏期子ども自然体験キャンプ

8月、全国7会場(SYD主催4会場、連合会・クラブ等共催3会場)で「子ども自然体験キャンプ」を開催。
全国的な猛暑の中、各会場で熱中症への対策を図りながら実施し、参加した子どもたち、またスタッフや
青年リーダーにとっても思い出に残るひとときとなった。

※表示の人数は「キャンパー」+「スタッフ・リーダー」

★SYD主催(子どもゆめ基金助成活動)

8/2～4…道南ふれあい 32人+30人〔北海道乙
部町・姫川ふれあいセンター〕《志村和也、林春幸》
※障がい児1人招待



8/7～10…桧原湖畔 66人+39人〔福島県北塩
原村・ぱんだいふれあいぴあ〕《谷野渉、鈴木綾、林
春幸》
※障がい児9人招待



8/22～25…瀬戸内海 52人+24人〔香川県小豆
島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕
《板倉和也、中野淳一》



8/17～20…鹿児島 64人+39人〔鹿児島県鹿児
島市・八重山公園キャンプ場〕《志村和也、栗原浩司》



9月14日～16日予定の「沖縄子ども自然体
験キャンプ」は、台風接近のため延期。
10月12日～14日に開催の予定です。

★連合会・クラブ等共催

《 》は派遣講師

8/16～19…いばらき 57人+22人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕 《谷野渉》



8/16～18…広島 19人+17人〔広島県福山市・ふくやまふれ愛ランド〕 《板倉和也》



8/9～12…北部九州 50人+27人〔福岡県北九州市・市立玄海青年の家〕 《保坂正志》



報告（青少年事業）

7/13～15…「子どもWAKU×2ひろば」(美幌)

39人〔北海道美幌町・報徳会館つどうむ21〕

《板倉和也》



子どもたちを募集して、7年ぶりに2泊3日のキャンプを実施。農業用のため池でボートレースを開催し、川では魚釣りにもチャレンジした。

野外炊事では特殊加工の袋を使った炊飯やカレー作りを楽しんだ。



7/16～8/14…ブラジル修養団「青年リーダー日本研修」〔東京都・福島県・三重県ほか〕

安楽カルロスエドアルドさん(31歳・社会人、写真左)と嶋田ドゥグラス美智雄さん(30歳・社会人)が、研修日程(30日間)を終え帰国した。

滞在中は本部研修のほか富士登山、「全国青年アカデミーキャンプin福島」、「桧原湖畔子ども自然体験キャンプ」、伊勢

勢青少年研修センターでの少年少女講習会にも参加した。

8月3日には「子どもWAKU×2ひろば」で福島県猪苗代町を訪問。郡山市のみどり幼稚園の卒園生47人と歌やレクリエーションで交流した。

《同行出張者:板倉和也》





また、8月12日はSYD本部での「青年ボランティアゼミナール」(参加者20人)で、「ブラジルを知ろう～心で繋がっているブラジルと日本から」をテーマに講演した。



7/20～23…「能登半島地震被災地訪問ふれ

あいボランティア」33人〔石川県羽咋市・国立能登青少年交流の家〕《伊東悠太、板倉和也、谷野渉》

1月に発生した能登半島地震の被災者支援として、「子どもWAKU×2ひろば」を開催。関東地区から6人の青年リーダーが参加し、事前準備にあたった。



1泊2日(21日～22日)のプログラムは輪島市の小学生27人を招待し、1日目に講師の伊東悠太さん(川崎ロケット教室FUEL代表)の手作りロケット教室を実施。晴天の中、ロケットが勢いよく飛び上がると歓声が上がった。

夜はキャンプファイヤーで楽しみ、2日目は工作の糸かけアートやレクリエーション大会をおこなうなど、中身の濃い2日間となった。



最終日は、輪島市立輪島中学校の鳥井芳一教諭を訪ね、鳥井教諭案内のもと輪島市内

の地震被害状況を視察し、同市内の商業施設にて復活した「輪島朝市」に立ち寄り、お土産品の購入を通じて復興に貢献した。

7/30～8/3…「全国青年アカデミーキャンプin

福島」17人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕《岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介》



全国各地から集まった中学生・高校生のほか、ブラジル修養団から研修生が参加し、「これからの幸せを語ろう～愛と実践のSDGs～」をテーマに5日間のキャンプ生活に臨んだ。



会場周辺の自然環境に触れ、五色沼や小野川不動滝などを散策したり、桧原湖畔のサイクリングを楽しんだりしたほか、キャンプの醍醐味である野外炊事やキャンプファイヤーなども体験した。



合わせて、講話でSDGs(持続可能な開発目標)への理解を深めたほか、映像学習を通じて貧困の中を生きる子どもたちへの認識を新たに、「幸せとは？」をキーワードとしたグループでの協議では「自分自身の幸せ」「世界の幸せと自分の幸せ」「それぞれの幸せの形」など独自の着眼点を見出すことができた。

8/12…「『子ども支援バッグ』作成作業」29人

〔東京都渋谷区・SYDホール〕

年間を通して『幸せの種まきキャンペーン』実施の学校・団体やSYDの連合会・クラブな

どから提供された文房具、Tシャツなどの支援品を手作りの布袋につめて、支援バッグ400袋を完成させた。

「青年ボランティア・アクションinフィリピン」の参加予定者や過去参加者の有志(高校生・大学生・社会人・親子連れ・など)が関東近郊から集まり作業をおこなった。



★WAKU×2ボランティアリーダー研修会

7/27～28…瀬戸内海 6人〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕 《板倉和也》



テント設営や野外炊事、島内にある寒霞溪の下見登山を実施。初日夜には、会場に参加できなかったリーダーとオンラインで顔合わせをおこなった。

8/1～2…道南 16人〔北海道乙部町・姫川ふれあいセンター〕 《志村和也、林春幸》



肝だめしのコースや会場近くにある海水プールを視察したほか、朝夕のつどいの方法を全員で確認するなど、キャンプに向けた準備にあたった。

8/10～12…友愛 26人〔滋賀県東近江市・茗荷村かど家〕 《板倉和也》

例年開催の「友愛子ども自然体験キャンプ」を、40年の節目で一回休み、これまでの振り返りとテント生(キャンパー)体験を目的に「友愛のつどい」を実施。川遊びやキャンプファイ

ヤーなど、童心に帰る3日間となった。

期間中には、SYD評議員で講師の宝井琴鶴さんが来場し、最終日に「若き日の渋沢栄一」と題した講談を披露した。



8/24～25…沖縄 21人〔沖縄県糸満市・県立糸満青少年の家〕 《谷野渉》



キャンプに向け、テントの設営と収納の仕方を確認したほか、グループ協議では「理想のリーダー像」をテーマに話し合いをおこなった。発表では、コミュニケーション能力や広い視野を持つこと、また笑顔や挨拶の大切さを全員で再認識した。

8/20～26…「青年ボランティア・アクションinフィリピン」19人〔フィリピン・マニラ市、ケソン市ほか〕 《山口千恵子、増田航介》



期間中、ナボタス市やスモーキーマウンテン(トンド)、ケソン市パヤタスなどを訪問し、日本から持参した「子ども支援バッグ」(日本各地からSYDにご寄付いただいたTシャツや学用品の入ったバッグ)計380個を、参加者から地

元の子どもたちに手渡し、交流活動を展開した。この他、「マザーテレサの家」での交流活動をおこなったほか、参加者のうち希望者は1泊のホームステイをし、ホストファミリーとの交流を図った。



また、映画「神の子たち」「YIELD～子どもの瞳をみつめて～」などフィリピンを題材とした数多くの映画やドキュメンタリーの監督を務める瓜生敏彦さんが2014年に設立した劇場「T IUシアター」(マニラ市)を訪問し、勉強だけでなくダンスや歌などの芸術面で技術をみがく子どもたちのパフォーマンスを鑑賞した。



さらに、スモーキーマウンテンやパヤタスの子どもたちを動物園や遊園地に招待し、楽しいひとときを過ごした。

招待にあたり、皆様からお預かりした「幸せの種まき献金」を充当いたしました。

充当額につきましては、毎年度の献金報告書にて報告をさせていただいております。

9/14～16…「子どもわくわく自然体験キャンプ」

〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕《増田航介、林春幸》

※詳細次号

伊勢青少年研修センターの夏期事業

《武田数宏、保坂正志、山崎政弘、斎田聖生、竹本英美》

センターを会場とした合宿研修を4回、所外研修を1回実施。はきもの揃えや挨拶、返事などの基本的な生活習慣を身につけるとともに、グループ活動を通じて助けあいの心を学んだ。

また、キャンプファイヤーや野外炊事、五十鈴川での川あそびなどの野外プログラムのほか、大講堂での静坐やトイレ掃除にもチャレンジした。

7/22～24…「茨木寺子屋伊勢合宿」49人

(教育再生いばらきとの共催事業)



竹はんごうでごはんを炊きました

7/26～28…「岸和田少年少女サマースクール」

66人(公益社団法人岸和田青年会議所との共催事業)



紙すきにチャレンジしました

7/30～8/1…「伊勢少年少女合宿講習会」

98人(一般社団法人伊勢青年会議所との共催事業)

8/10～8/13…「伊勢・近江自然体験交流合宿」

74人(センター主催事業)



地元・伊勢市と滋賀県東近江市の子どもたちを中心に、異年齢・異地域のグループ(村)編成による交流合宿。

野外炊事では村ごとに作るものを決め、村以外の人の分も作り、仲良く分け合った。

暑さの厳しい中だったが、元気いっぱいに活動を進めることができた。

8/20～8/23…「房総自然体験交流合宿」15人

〔千葉県君津市・県立君津亀山青少年自然の家〕

(センター主催事業) 《武田数宏、山崎政弘》



昨年に続き、伊勢を飛び出して千葉県・房総半島での交流合宿を実施。

川あそびや野外炊事をはじめとする屋外活動のほか、講話などの室内プログラムを織り交ぜ、実りある4日間を過ごすことができた。

**【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】**

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

予 定

10/ 1 静岡県・浜松聖星高等学校 1 学年

10/ 4 徳島県立脇町高等学校

10/17 愛知県津島市立神守小学校

予 定

9/20～9/23…「ばんだいリーダーの集い」〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ〕

《板倉和也、谷野渉、増田航介》

9/27…「青年ボランティアゼミナール」〔東京都渋谷区・SYDホール〕

8月に実施した「青年ボランティア・アクション in フィリピン」の参加者による体験発表を予定。

10/11～14…「フィリピン支援者訪問ボランティア」

〔フィリピン・マニラ市、ケソン市ほか〕

《山口千恵子、増田航介》

10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕

《武田数宏、山崎政弘、板倉和也、林春幸、斎田聖生、竹本英美》

10/19…「子どもWAKU×2ひろば」(友愛)

〔岐阜県安八町〕

《板倉和也》

さつまいも掘り(収穫)体験を予定。

＜発行・連絡先＞

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424

E-mail : info@syd.or.jp

ホームページ : https://syd.or.jp/

SYD

検索